

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

No. 260

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

2021（令和3）年4月28日

新井中央小学校の宝物

学校にとって一番の宝物は子どもに決まっていますし、「自分もみんなも 明るく うれしく よかったね」の合言葉も、新井中央小学校の宝物に違いありません。でも、この「校歌」を宝物に挙げられる方も多いのではないのでしょうか。

新井中央小学校 校歌

清水 邦夫 作詞

飯吉 馨 作曲

一、きみたちがいて ぼくたちがいる

わがふるさと 新井

ああ 妙高も 関川も

ちからに みちて

いつも 変わらない いつも かがやく

たがいに 眼をあげて 眼をあげて

忘れない 今日という日

信じてる 明日という日

二、風たちが歌い 鳥たちが歌う

わがふるさと 新井

ああ よろこびも かなしみも つつみこんで

いつも 勇気づける いつも はげます

たがいに 眼をあげて 眼をあげて

忘れない 今日という日

信じてる 明日という日

三、花たちが舞い 雪たちが舞う

わがふるさと 新井

ああ 春 夏 秋 冬

めぐりめぐって

いつも 夢を語る いつも うれしい

たがいに 眼をあげて 眼をあげて

※忘れない 今日という日

信じてる 明日という日 ※繰り返し



清水 邦夫 様

妙高市（旧新井市）出身の劇作家。1960年代後半から演出家の蜷川幸雄氏と組んで活動、若者から熱烈な支持を受け、作品は海外でも上演された。その後、劇団を主宰、小説執筆で芥川賞候補となり、多摩美術大学教授も務めるなど、多方面で活躍。芸術選奨文部大臣賞等、受賞多数。2002年に紫綬褒章、08年に旭日小綬章を受けた。 ※1

新井中央小学校校歌の作詞者、清水邦夫様が、4月15日お昼頃、ご逝去されました。

この校歌は本年度入学の47名を含む、全312人の在校生、延べ1,813人の卒業生、保護者、地域の皆さん、そして職員にとっても、本当に大切な宝物です。清水様は新井中央小学校の開校に際し、快く作詞を引き受け、新井中央小学校の校歌お披露目会（平成3年11月10日 第1回文化祭）に駆けつけてくださった時に、新聞社の取材に以下のように答えられたそうです。「歌って、“明日もがんばろう”という思いになってもらえれば、また、大人になったとき、少年少女時代をなつかしく思い出すきっかけになれば、そんな願いを込めて作った。永く愛される校歌であってほしい。」※2

心より感謝を申し上げるとともに、謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

新井中央小学校の宝物をありがとうございました。これからも大切に歌い継いでいきます。

（※1 写真・記事ともに新潟日報モア 2021/04/17より転載・引用

※2 産経新聞 1991/11/12より引用）